

# 第 81 回 全日本スリークッション選手権大会 寛仁親王杯 《大会要項》

日 程:2024 年 5 月 4 日(土・祝)~7 日(火)午前 10 時試合開始 (最終日は 11 時試合開始)

会 場:千代田区/霞が関ビル内 霞が関プラザホール  
東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」徒歩 2 分 他最寄り駅多数(徒歩 6 分~10 分)  
(〒100-6090 東京都千代田区霞が関 3-2-5)

試合方式:クロック使用 [40 秒ルール/全ゲーム TimeOut-3 枚] \*選手細則参照

予選ラウンド

5 月 4 日(土・祝)・5 日(日) 大会シード 8 名+地区枠 40 名=計 48 名  
3 名リーグ×16 組/30 点 各組上位 2 名選出

各地区代表選手	シード	8 名
	北海道	2 名
	東北	2 名
	静岡	2 名
	中部	3 名
	関西・北陸	4 名
	中国	1 名
	四国	1 名
	九州	2 名
	関東	23 名

シード	第 80 回 全日本 3C 選手権者(梅田竜二) 第 72 回 全日本アマ 3C 選手権者(加藤一寛) 他 2023 年度 JPBF ランキング 7 位まで	8 名
-----	--	-----

決勝トーナメント

シングルトーナメント [裏撞き無し]

5 月 6 日(月・祝) ベスト 32 (35 点)

ベスト 16 (40 点)

5 月 7 日(火) 8 名→準決勝→決勝 (40 点)

## 出場資格

- 要CSカード
- 日本国籍を有する者
- 国際的に共有されるアンチ・ドーピング活動の基本理念を理解し規則を遵守し随時の検体採取に応じられる選手に限る  
※全参加者がエントリー時点でアンチ・ドーピング活動の定める規則遵守に承諾したとみなされます 添付別紙をご確認ください

## 出場費：3万円

《振込先》 三菱UFJ銀行 新橋駅前支店  
(普)5418935 日本ビリヤード協会関東支部

\*NBA各支部からの一括入金 \*関東支部加盟店は店舗にて一括入金  
それ以外は振込名の冒頭を「プレイヤー氏名」にて入金してください

## 締切日：3月22日(金) 付けの入金確認にて締切り

(地区枠の返却が早々に決定している支部は3月11日迄にNBA 関東支部までご一報ください)

申込方法：3月22日(金) 午後5時までに各支部事務局より、代表順位（決定戦の成績）  
及び 広告データを添え

- ① 出場選手名
- ② 生年月日
- ③ 全日本選手権 最高位
- ④ 全日本選手権 出場回数

\*第50回大会はベスト16から第71回霞が関大会は最終予選（ベスト32）から本戦出場と数えます

- ⑤ 顔写真（昨年度出場者は、差替えを希望されない限り不要です）

下記アドレスまでお申込みください

[alljapan.3c@gmail.com](mailto:alljapan.3c@gmail.com)

関東支部加盟店は店舗単位でのエントリー及び広告入稿をお願いします  
今大会はパンフレットにてご紹介をいたします  
広告の入稿に際しましては 送付いたしました[御協賛のお願い]をご参照ください

組合せ：組合せ及びタイムスケジュールは4月10日(水)夜半に発表します

\*4月11日(木)～4月26日(金)までに辞退選手が有った際は関東支部の主管地  
一任にて補充を行います

ただし組合せ発表後の補充はゼッケンを変更せず辞退選手の枠に補充を行います

\*4月27日(土)以降の棄権は補充をせず開催いたします

主催：公益社団法人 日本ビリヤード協会

〒160-0013 東京都 新宿区霞ヶ丘町 4-2 Japan Sport Olympic Square 704 号室

公益社団法人 日本ビリヤード協会

Tel. 03-5770-7911 Fax. 03-5770-7913

主管：日本ビリヤード協会 関東支部

Mail. info@nba-kanto.com Fax. 03-5770-7913

本大会は国際大会派遣選手の選考対象大会です

《派遣は競技力向上事業助成金を受けて実施されます》



すべてのスポーツにエールを

スポーツくじの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

**JAPAN SPORT**  
COUNCIL

日本スポーツ振興センター

**競技力向上事業**

# 第81回 全日本スリークッション選手権大会

## 寛仁親王杯 《選手細則》

服装規定：本大会にはドレスコードチェックがございます

服装規定が守られていない選手は本大会に出場する事は出来ません

各支部事務局(関東は所属店舗責任者)の下 代表選手へ周知徹底をしてください

ドレスコードA

[競技・表彰式ともに日本国旗やオリンピック(JOC 含)に関わるマークの装着禁止]

ベスト（ニット不可）・蝶ネクタイ（色 デザインともに自由）

シャツ：単色 襟付きで長袖（最終日の着用は単色 白のみ）

スラックス（黒のフォーマルズボン）・靴（黒革靴）・靴下（黒系統）

※ 頭部を覆う物を禁止します（特別な事情がある場合は事前に申告する事）

女性プレーヤーに関しては、選手権に相応しい正装（盛装）であれば上記の限りでは  
ありません（極端な肌の露出やバックストラップの無い靴は不可）

集合時間：タイムスケジュールの時刻には試合に入れる準備を整えておく事

呼び出し時に試合に入らず 10 分間経過すると失格(大会そのもの)となります

\* 試合開始時刻を早めたい旨の依頼や、同回転内でゲームNoの変更を依頼する可能性が  
ございます 予めご了承の上大会運営へのご協力をお願いします

練習：各選手 毎ゲーム 5 分

試合方式：バンキングに関して UMB ルールを適用し 以下の通りと致します

☆ レフリーコールが終わった後 両者揃ってバンキングをすること

先に撞いた手球が短クッション到達前までに後者が撞き終わっていない場合はファールとなり初球選択権がなくなります レフリーコールが終わる前にバンキングを撞いた場合はノーカウントとし再度バンキングを行います 2 回目にバンキングを行った結果再度ノーカウントとなった場合ファールをした選手に初球選択権がなくなりますのでご注意ください

☆ Time Out は[自動更新]です

☆ 各テーブルにクロックを配置いたします

40 秒ルール Time Out 全ゲーム 3 枚

☆ 与えられた Time Out の枚数を使い切りショットまでに 40 秒経過させるとファールとなります（プレーヤー交代、相手は必ず初球立直しからプレーします）

- ☆ ロスタイムの申請はレフリーが認識しない限りクロックが進み続けるため明確に行う事
- ☆ ロスタイムオフはレフリーが判断します
- ☆ 試合中の離席（トイレタイム）について

#### 30点 リーグ戦

Time Outは1ゲームに1回1枚を使用してトイレタイムを取る事ができます（良識の範囲内 5分を限度とする事）自分の順番時にのみ使用可能 Time Outを失った後は持ち時間の範囲内で済ませる事 休憩では無いのでトイレ以外（喫煙等）認めません

#### 35点/40点 シングルトーナメント [裏撞き無し]

どちらかのプレイヤーが18点/20点に達したイニング後 レフリーの指示及び計測により 5分間以内の休憩を取ります

\*Time Outを使用してのトイレタイムはできません

- ☆ ベスト16より 40点ゲーム

#### 競技使用設備

テーブル：Min Billiards Table

ラシヤ：classone (UMB 公認)

ボール：Dyna spheres (UMB 公認)

## 【アンチ・ドーピングに関する注意事項】

### アンチ・ドーピングは競技ビリヤードに於いて国際的に取り決められた義務です

ドーピング検査に関する国内での一連のプロセスは日本アンチ・ドーピング機構と日本スポーツフェアネス推進機構に委ねられており、競技会に携わる全ての方に守って頂く必要があります

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイトからダウンロードできます。  
親権者同意書フォーム <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>  
18歳未満の競技者は、ドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみです。当該同意書提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合には、検査後の7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切の影響がないものとします。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等の個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合など、いずれもアンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADAウェブサイトでご確認下さい。  
JADAウェブサイト <https://www.playtruejapan.org/>  
JADAアスリートサイト <https://www.realchampion.jp/>

#### 補記1：上記以外の具体的な注意事項

- A. アンチ・ドーピング基本理念に則り競技者に課せられた責務として、自己が摂取又は使用する食品・サプリメント・薬品等についての責任は出場者自身が負わなければなりません。  
薬品類についての問い合わせ <https://www.playtruejapan.org/medical-staff/medicine/>
- B. 医師の治療にかかる際は、禁止物質や禁止方法を使用してはならないという自己の責務を伝え、自己に施される治療がアンチ・ドーピング規則に違反しないことを確認しなければなりません。  
治療に関する医療従事者サイト <https://www.playtruejapan.org/medical-staff/>
- C. 競技会検査対象大会の参加者で治療のため禁止物質や禁止方法を使用する必要がある場合は、予めJADAにTUE(治療使用特例)を申請し承認を得ておかなければなりません。  
TUE取得条件・申請に関するアスリートサイト <https://www.realchampion.jp/what/health/tue/>  
TUE取得条件・申請に関する医療従事者サイト <https://www.playtruejapan.org/medical-staff/request/>
- D. 競技会検査対象大会と公表されていなくても、「全日本レベルの大会」は全てドーピング・コントロール対象大会である為、大会終了直後を含めた随時に競技会外検査が参加者に実施される場合があり、これを拒否又は回避することは制裁等の対象となります。予めJADAにTUEを申請し承認を得ておく必要はありませんが、検査が実施されて陽性となった場合にJADAへの事後のTUE申請「遡及的TUE申請」対応が求められ、結果が承認されない場合には制裁等の対象となる為、自身への治療がTUE取得条件を満たしていることを主治医に確認する等の準備が必要となります。

E. 検査対象者は上位入賞者に限らず、ランダムに複数名が抽出されます。

補記 2：競技者の責務について 《日本アンチ・ドーピング規程から抜粋》

24.2 いつでも検体採取に応じること。

24.3 アンチ・ドーピングとの関連で、自己の摂取物及び使用物に関して責任を負うこと。

24.4 禁止物質及び禁止方法を使用してはならないという義務を負っていることを医療従事者に対して自らが伝達するとともに、自らが受ける医療処置についても、本規程に基づき導入されたアンチ・ドーピング規範及び規則に対する違反に該当しないようにすること。

日本アンチ・ドーピング規程      <https://www.playtruejapan.org/code/provision/japan.html>

日本アンチ・ドーピング規程は、世界アンチ・ドーピング規程に規定されている各条項に基づいて作成された日本国内におけるアンチ・ドーピング規則です。世界アンチ・ドーピング機構(EADA)が定めている国際基準に基づいた活動内容を展開することが規定されています。

日本アンチ・ドーピング規程は、日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会、日本スポーツ協会、JADA に加盟する国内競技連盟、都道府県スポーツ協会に適用され、各組織の役割と責務を規定しています。個人の立場から見た場合には、国内競技団体に所属したり、国内競技団体が主催する活動や競技大会に参加することによって、アスリートだけでなくサポートスタッフにも日本アンチ・ドーピング規程が適用される構造となっています。

### 【海外派遣に備えて、知っておいて頂きたいこと】

WADA が示した「2021Code/教育に関する国際基準」に対応して、ドーピング検査に依らずに自らがスポーツの価値を護り育む主体性を養うことを趣旨とした「検査の前の教育」「派遣の前の教育」の実践が、各国競技団体組織が取り組むべきアンチ・ドーピング活動の一環に加わることとなりました。

今後、段階的に、国際競技連盟やアジア競技連盟などが主催する国際競技大会の派遣要件として、アンチ・ドーピング機構によって資格承認された「承認 EDUCATOR」による教育を受けた証明書の提出、アンチ・ドーピング機構が提供する E ラーニングを受講した証明書の提出などが求められるようになります。

各競技種目の世界選手権やアジア選手権に先んじるかたちで、2024 アジアインドア&マーシャルアーツゲームズ大会が、主要国際総合競技大会として、上記の対応を要する対象となることが公表されています。

「主要国際総合競技大会派遣における教育実施の指針」について

<https://www.playtruejapan.org/topics/2023/000650.html>